

平成20年度世羅町立大田小学校
学校関係者評価（最終評価）

平成21年 3月10日

評価項目	評価	理由・意見
自己評価の目標・方策・指標等の設定の適切さ 重点を踏まえたものか 視点は明確か 他に評価すべき項目はないか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が、具体的でわかりやすい。そのため、努力しやすいと思われる。 ・ 指標設定を100%にするか70%にするかで評価は変わるが、その設定は難しい。根拠を明確にして、設定することが大切である。 ・ 他に評価すべき項目の有無は、判断できない(難しい)。
最終評価結果の適切さ 根拠に基づき明確か 実態に即しているか (知・徳・体・信頼される学校の各項目の評価結果は、実態とあっているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価指標に照らし合わせて、評価結果が出されている。 ・ 1項目ごとの評価指標による評価だけでなく、短期経営目標ごとの評価があるのは大切である。
結果の分析及び今後の改善方策の適切さ 分析は明確か 改善方策の具体性があるか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期経営目標の「知」「徳」「体」「特色ある学校・信頼される学校」の項目ごとに、おおくりで評価してはどうか。その際、前回評価との比較や前年との比較をすれば変化がわかりやすい。 ・ 数値による達成度の評価は具体的であり、根拠がしっかりしている。次年度の数値目標の設定は、今年度評価を基にしたうえで設定することが必要。
学校評価の理解は進んでいるか、資料説明はわかりやすいか 保護者や地域にとってわかりやすいか 情報提供は十分か	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ この評価表を保護者に渡してもらっても理解できない(読む気にならない)。保護者には、この評価表をもとにしてわかりやすく解釈したもの(たとえば本を読めとかテレビを見るなどといったこと)を投げかけてほしい。 ・ 保護者や地域に、どこの場で伝えていくかを検討する必要がある。
総合評価 その他、気づきや次年度への改善点	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長の姿勢の「あいさつ」「姿勢」「一生懸命」の方針は明確ですばらしい。それが良く発信されている。

評価結果は、次の4段階で評価する

A：とても適切である B：おおむね適切である C：あまり適切でない
D：まったく適切でない N：判定できない